

## IT 戦略の今後の在り方に関する専門調査会議事要旨（案）

- 1 開催日時：平成 14 年 11 月 28 日（木） 17:00～18:07
- 2 場 所：内閣府 5 階特別会議室
- 3 出席委員：  
石黒委員、出井委員（座長） 大江委員、大橋委員、大山委員、小野委員、  
清原委員、国領委員、清水委員、高橋委員、多賀谷委員、田村委員、  
成毛委員、廣川委員、村井委員（座長代理）、村上委員  
その他の出席者：事務局（内閣官房）

### （議事次第）

- 1．開会
- 2．今後のスケジュール等について
- 3．自由討議
- 4．閉会

### （配布資料）

- 資料 1 「基本法」「戦略」「重点計画」について  
資料 2 IT 戦略の今後の在り方に関する専門調査会のスケジュールについて<想定>  
資料 3 IT 戦略の今後の在り方に関する専門調査会委員ご提出資料

### （会議概要）

#### 1．開 会

(1)座長から開会の挨拶が行われた。

#### （座長）

本日は、IT 戦略を考える上で、どういった点に焦点をあてて検討を進めていくか、新戦略の理念・視点につきご意見いただき、前回に引き続き議論していく。

#### 2．今後のスケジュール等について

(1) 戦略と IT 基本法、重点計画との関係、今後のスケジュールにつき事務局から説明。

#### （座長）

戦略については、重点 5 分野を尊重しつつ、現在の e-Japan の中から焦点を絞るといって横断的に取り上げる。e-Japan の考え方をベースにしつつ、更に具体的なものを作りたい。スケジュールはタイトになるが、できる限り早く、2 月中には戦略案をまとめて、十分時間をかけてその後の e-Japan 重点計画の見直しに反映できるようにしたいので、よろしく願いたい。

### 3. 自由討議

- (1) 各委員から、提出資料に基づき、新戦略の検討にあたって焦点をあてるべき分野につき、発言があった。
- (2) 各委員の意見表明の後、座長から、各委員からの提出資料及び意見を踏まえてとりまとめた資料[新 IT 戦略骨子(案)]が配布された。

(座長)

戦略の方向性としては、IT を活用して日本の競争力を向上して持続的な経済成長を図るというサプライサイドの視点と、ディマンド・サイドの視点から安全・安心・感動社会の構築というような個人・利用者の視点を兼ねあわせようという意見が多かったと思う。政府の役割としては、方向性の明示、インセンティブ付与、規制緩和・競争環境の整備、必要最小限の先行投資などがあると思う。持続的な経済成長の分野を更に分解すると、構造改革、新価値創造、国際戦略の視点が挙げられると思う。個人の視点については、セキュリティや利便性の向上、個人の安全・安心とコンテンツをはじめとした生き生きとした感動社会の構築ということがポイントになるのではないかと。ただし、個々の表現については、まだ十分に練れていないので、委員各位のご意見をお伺いしたい。

- (3) 座長配布の資料を踏まえ、以下の議論が行われた。

継続的なインフラ整備が必要であると言及した委員、格差是正が必要であると言及した委員が、それぞれ数名ずついた。また、格差是正は IT 基本法の基本理念でもある。これらを含めるべき。

安全・安心・感動社会の構築につき、受け取る側のクオリティということが重要。受け取る側の品質の高さは、日本が誇れるものの一部である。

これは項目なので、書き込んでいく時に入れていけばよい。世界の最高水準のインフラの整備については、既に既存の重点政策 5 項目のベースに入っており、外すわけにもいかないだろう。

前回の議論では、インフラはいらないという議論があった。

そのようなことはない。

受け取る側の問題があり、片方向ではなくて、完全双方向が必要。ADSL では不十分。日本は狭いので ADSL でも(今のところは)問題ないと思う。阻害になるのは間違いないが。

インフラの整備も大事だがインフラは放っておいても必ず進んでいくと思う。しかし、具体的に目に見えること、価値があるということをしないと IT 革命は進まない。新価値創造で、しかも、中小企業を中心に据えて、中小企業・大企業を問わず、IT 化を進めて行くべき。

私も大企業にいるが、情報システムには、あまりにも古いものがあり、それを変えつ

つ、新しいものを進めていくのは難しい。企業の規模を問わずやっていかなければいけない。

e-Japan の名前だが、i-Japan の方が良いんじゃないかという議論がある。これはインテリジェンス革命。e は機械的イメージがあり、今回中身の議論に移るということで、インテリジェントな革命であるはず。e より、i の方が良いのではないか。情報格差の問題は、使わない道路を引くような話になりかねない。日本人の住み方及びそこにいる価値観を変えなければならない。都市再生の問題と同じで集中して住むということの方が効率がよい。離島まで光ファイバを引いていくような発想は違うと思う。基本法に書いてあることは、法律として前提としなければならない。

人材というキーワードを盛り込んだ方がよい。どういう人材を育成していくとか、そういう視点を入れていくべきではないか。

インフラの問題だが、出井座長の示した骨子は、成果目標を構成するもの。その手段として、インフラ整備というのは当然ある。最小限の競争環境の整備、先行的な研究開発投資等がそれにあたるが、この4本の大きな柱に入れる必要は無いのではないかと思う。e を i にということだが、変えるのであれば、変えたものが、国内的にも、国際的にもある程度のインパクトを持つようなものでなければいけない。i というのが十分インパクトがあるのかという点については議論しなければならない。

皆がユビキタスというのも違和感があり、インテリジェントというのが良いのか、他が良いのか、考えていきたい。

国の役割に、情報資源の提供を付け加えていただきたい。ひとつは情報だが、もうひとつは、周波数の共用。周波数の再配分について従来から関係している。一番周波数の無駄遣いしているのは国。これについて有効利用を進め、民間が使えるようにしないと、移動体通信ができなくなったりしてしまう。GIS について、文化庁が著作権制度を持っているが、国や地方自治体の機関が作った地図が民間で広く使えるようにしなければならない。国のいろいろな資源を活用していくことが大切。

確認だが、まだこれから項目を入れていって良いのか。

もちろんである。

政府の会議では、いつも項目を山のように入れていく。外資系企業では、項目は3つ以上書くなと言われる。このような会議では、いつもどんどん項目が付け加わって、これは何事かということになる。この会議でも、どんどん付け加わるのか。

一番大きい項目は、「持続的な経済成長」と「安心・安全・感動社会の構築」の2つ。その下の細かい点について、全部を含めるのではなく、どれを含めていくかについて、皆で議論して決めればよい。やれることは限られている。網羅的なのは、e-Japan 重点計画-2002 にあるのもう良い。今回の項目は絞りたい。

そういう意味で、言葉や表現ももっと揉まなければいけない。

確かにそのとおり。どうやって IT をより身近にするかが重要。明示的にするには、小泉総理という訴求力の強いリーダーが身近にいたので、総理が IT に近づいたことを示せばよい。皆さんのお知恵をいただきたい。難しい言葉を使って書くと、どんどん離れてしまう。総論については、座長と座長代理でまとめていきたいが、この4分野(2分野のうち、経済成長を更に3つに分ける)で概ねよろしければ、この形で進めさせていただきたい。

基本理念について。民間主導と政府による環境整備とあったが、それとの関係はどうなるのか。変えるのか、しっかり議論することが必要。官民の役割分担について、もう一度議論しろということもある。戦略の基本理念は変わらないのか。

書き直しても良いのではないかと思う。こういうことは1年も経てば随分変わるものである。

官民の役割分担を明確にするような理念をもう一度出しても良いのではないかと思う。

座長の示した4つの分野について、とりあえず、今日提出のあった資料に基づいて、グルーピングさせていただいた。ここで議論し、ここから洗い出していく中で、言葉の問題も含め議論して欲しい。このグルーピングは心外だなどと言わずに、このチャネルを通じて、必要なことを洗い出して欲しい。これからの体制として、「構造改革」の主査を国領委員にお願いし、小野委員、成毛委員と一緒に考えていただきたい。「新価値創造」については、村上委員に主査をお願いし、多賀谷委員、高橋委員に検討いただきたい。「国際戦略」については、鈴木委員に主査をお願いし、石黒委員、大江委員、田村委員にお考え願いたい。「安心・安全・感動社会の構築」については、大きな課題であるが、清原委員に主査をお願いし、大橋委員、大山委員、清水委員、廣川委員にご検討いただきたいと思う。こういったブロックで、全体の構造や名前を構造を含めて議論していただき、メーリングリスト等々を活用していただきたい。座長並びに座長代理もできるだけ議論に参加するので、厳しいスケジュールであるが、こういう体制でよろしく願いたい。

もちろん他のグループの議論にもどんどん参加していただき、得意な分野で意見を出していただければよい。

これで決まりですか。他のグループにもどんどん参加してよいのか。

全く構わない。

明日からアクションとして、手分けをしておくということ。

#### 4. 閉会

(座長)

今後、戦略がある程度まとまってきた時にまた意見を出す機会もあると思う。まずは村井座長代理がまとめた形でやっていただき、もし自分はこちらの方がコントリビュ

ートできる等のことがあれば、村井座長代理に申し出てほしい。12月9日のIT戦略本部において、専門調査会での議論と今後の方向性を諮りたいと思う。次回の専門調査会は12月中旬を考えているが、次回会合までに、各グループで議論いただき、各主査はなるべく具体的な施策をまとめていただきたい。今後とも月一回程度専門調査会を開催して、2月の月上旬頃までに、新IT戦略案をまとめたい。自由な会議であるのでどんどん他の分野にも意見を出していただき、また、ご自身のグループでも頑張ってください。この前のIT戦略本部で、少々インフラによりすぎている等の意見もあったが、バランスを見ながら、具体的なものをまとめていきたい。また、良いワーディングの方も是非よろしくお願ひしたい。

(以 上)